



別冊

(報告) ユーザー理解活動の取組状況

2019年9月20日

公益財団法人自動車リサイクル促進センター

《目次》

1. 2019年度ユーザー理解活動の計画 …… P2
2. 情報の質を高める取組 …… P3
3. インターネットメディアでの露出を高める取組 …… P4
4. 全国の環境イベントでの取組 …… P5
5. 新聞折込チラシを利用した取組 …… P7
6. P R 動画を使った共感を得る取組 …… P8
7. 小学生とその保護者を対象とした取組 …… P9
8. 活動費の執行状況(第 1 Q) …… P10



1. 2019年度ユーザー理解活動の計画

ユーザーにとって利便性が高く、コスト効率が良い手法を用いて、質の高い情報を提供する。そして、これに電子メディアを活用した取り組みを加えることで新たなターゲットにアプローチを行い、ユーザーを含む国民一人ひとりに質の高い情報を提供する。また、情報の質を高め、効果的に情報が届けられるように、ユーザーの自動車リサイクルの認知状況や関係者のニーズを把握する。

(1) 情報発信の取組

<個別施策>

- (1)質を高めた情報発信
- (2)全国地域イベントでの情報発信
- (3)常設展示ブースを活用した情報発信
- (4)自動車リサイクルの現場見学会開催
- (5)クルマのリサイクル作品コンクール開催
- (6)運転免許教習生への情報提供

認知向上
理解促進



メディアミックス*
による情報発信

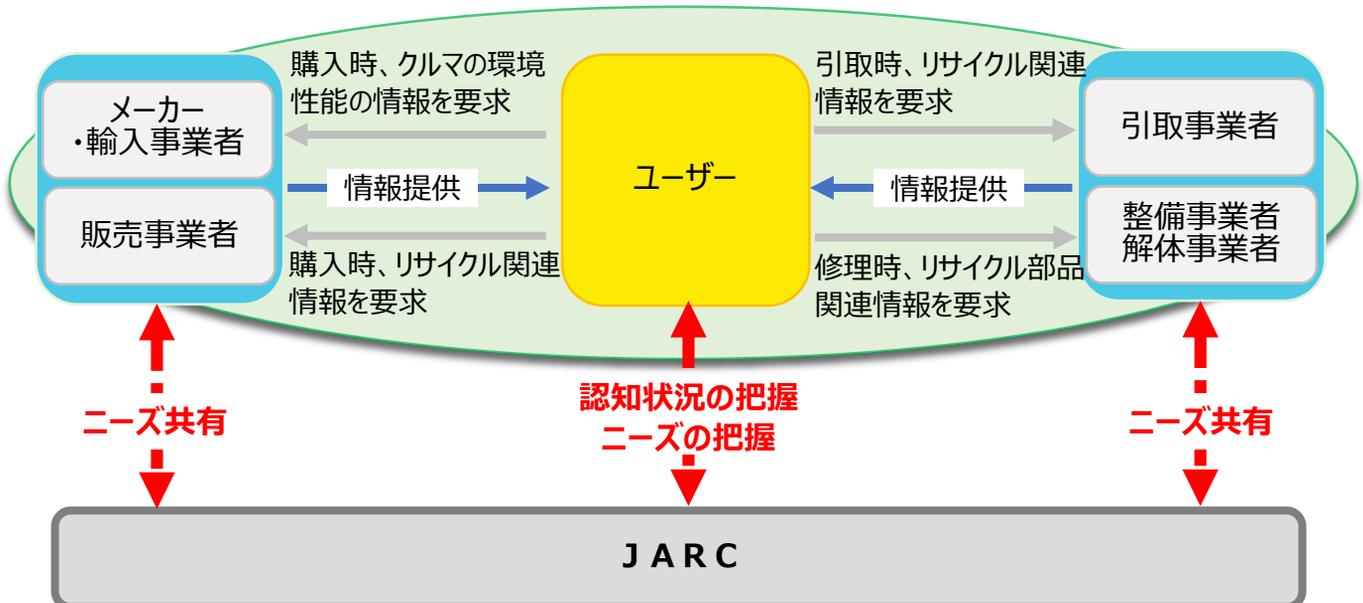
<共通施策>

(7)メディアを活用した効果的な取組



*メディアミックスとは、個別施策の効果をより高めるために、新聞、テレビ、雑誌、SNSなどのメディアを組み合わせる行う広告活動。

(2) 情報収集の取組



2. 情報の質を高める取組

質を高めたコンテンツ創りをタイムリーに取り組みるとともに、そこで得られた情報をメディアを通じてユーザーに届ける取組を行っている。

(1) コンタクトセンター開設のタイミングでのコンテンツ創り

4/17、沖縄県うるま市で「新 自動車リサイクルコンタクトセンター」のオープニングセレモニーを行い、その情景を“琉球新報”、“沖縄タイムス”の朝刊に記事が掲載され、地域ユーザーに対しての情報発信に取り組むことができた。

なお、セレモニーには、うるま市副市長 上間様をはじめとした、多くの方々にご列席いただいた。



(2) データセンター開局のタイミングでのコンテンツ創り

5/15、岡山県岡山市で「新 自動車リサイクルデータセンター」の開局セレモニーを行い、その情景を“山陽新聞”、“読売新聞”の朝刊に記事が掲載され、地域ユーザーに対しての情報発信に取り組むことができた。これに加えて、“KSB瀬戸内海放送”の夕方ニュースでも取り上げられた。

なお、セレモニーには、岡山県商工会議所連合会会頭 松田様、岡山県産業労働部 三浦様、岡山市環境局 横山様をはじめとした、多くの方々にご列席をいただいた。



(提供：KSB瀬戸内海放送)

(3) 新専務理事着任のタイミングでのコンテンツ創り

8/9、循環型社会の実現に向けた自動車リサイクルの取組についての情報発信を行うべく、新専務理事着任のタイミングでメディア誘致を図り、毎日新聞社が発行する毎日フォーラム(月刊誌)に記事が掲載され、読者への情報発信に取り組むことができた。



(提供：毎日新聞社)

3. インターネットメディアでの露出を高める取組

2019年4月から7月末までにニュースリリースを11件配信し、ネットメディアでの自動車リサイクルに関する情報の露出を高める取組を行った。その結果、ネットメディアに586件の記事が掲載された(広告換算:約1億6千万円)。

(1) リリース情報と広告換算(参考値)

	配信日	リリース情報	掲載数 (件)	広告換算* (万円)
1	4/8	「クルマのリサイクル」作品コンクール受賞者の表彰式を開催	58	1,426
2	4/15	平成31年度事業計画を策定	53	1,395
3	4/19	うるま市に「新 自動車リサイクルコンタクトセンター」を開設	53	1,657
4	4/23	自治体向け基礎知識研修を5/10から全国9ヶ所で実施	54	1,660
5	5/17	岡山市に「新自動車リサイクルデータセンター」を開局	52	1,499
6	5/23	国内初のCBI認証付きサステナビリティボンドに投資	50	1,492
7	5/24	「地球環境イベントかながわエコ10フェスタ2019」に出展	53	1,503
8	5/31	「水戸市環境フェア2019」に初出展	52	1,499
9	6/6	「令和元年度 環境の日 ひろしま大会」に初出展	52	1,500
10	6/14	JICA発行のソーシャルボンドに投資	55	1,514
11	7/31	「自動車リサイクルデータBook 2018」本日公表	54	1,506
合 計			586	16,651

*メディアに記事掲載された際の露出効果を、同じ枠を広告として購入した場合の広告費に換算したもの



配信した
リリース例

(2) 掲載メディア例

毎日新聞、朝日新聞、四国新聞、京都新聞、奈良新聞、山形新聞、福井新聞、沖縄タイムスプラス、紀伊民報、千葉日報、宮崎日日新聞、新潟日報、茨城新聞、徳島新聞、福島民友、紀伊民報、山梨日日新聞、河北新報、上毛新聞、秋田魁新報、下野新聞、週刊女性PRIME、AFP BBNews、楽天NEWS、Google ニュース、Impress Watch Headline、excite ニュース、J-CAST ニュース、CNET Japan、

4. 全国の環境イベントでの取組

2019年度は、昨年度の11ヶ所から15ヶ所へと各地域の環境イベントの出展回数を増やし、全国をキャラバンしながら自動車リサイクルの取組についての理解活動を行っている。そして、出展に際しては、地域メディアや自治体との情報共有を行いながら地域住民へ情報発信を行っている。

(1) 環境イベントへの出展計画と認知に関するアンケート結果

	開催地	名称	開催月	規模感 (万人)	認知度 *	Map
①	横浜	かながわEco10フェスタ	5月	14.0	70%	
②	水戸	水戸市環境フェア	6月	1.3	68%	
③	広島	「環境の日」広島大会	6月	0.4	69%	
④	札幌	環境広場さっぽろ	8月	2.6	69%	
⑤	金沢	いしかわ環境フェア	8月	2.6	67%	
⑥	秋田	あきたEco&リサイクルフェスティバル	9月	2.0		
⑦	仙台	Ecoフェスタ仙台	9月	1.0		
⑧	名古屋	環境デーなごや	9月	11.0		
⑨	姫路	ひめじ環境フェスティバル	9月	1.4		
⑩	福岡	環境フェスティバルふくおか	10月	4.0		
⑪	松江	松江環境フェスティバル	11月	1.0		
⑫	岐阜	岐阜市Ecoフェスタ	11月	1.0		
⑬	北九州	Ecoライブステージ	11月	15.0		
⑭	京都	京都環境フェスティバル	12月	2.8		
⑮	東京	EcoEco	12月	16.0		

*自動車リサイクル制度について、「どんな仕組みか概要を知っている」「名前を聞いたことがある程度」を選択した回答者の割合

(2) 取組状況

① 横浜イベント

- 日程：5/25(土)、26(日)
- 会場：横浜公園
- 天候：晴れ
- 来場者：約14万人
- アンケート回収数：1,240件
内自動車1-サー：710件(57%)
- 認知状況：70%



② 水戸イベント

- 日程：6/2(日)
- 会場：千波公園
- 天候：くもり
- 来場者：約1.0万人
- アンケート回収数：529件
内自動車1-ザ-：437件(83%)
- 認知状況：68%



③ 広島イベント

- 日程：6/9(日)
- 会場：県庁前広場
- 天候：晴れ
- 来場者：約0.4万人
- アンケート回収数：508件
内自動車1-ザ-：333件(66%)
- 認知状況：69%



④ 札幌イベント

- 日程：8/12(日)、13(月)
- 会場：札幌ドーム
- 天候：くもり
- 来場者：約2.6万人
- アンケート回収数：1,029件
内自動車1-ザ-：763件(74%)
- 認知状況：69%



マラカス作り



⑤ 金沢イベント

- 日程：8/24(土)、25(日)
- 会場：石川県産業展示館
- 天候：晴れ
- 来場者：約2.8万人
- アンケート回収数：1,061件
内自動車1-ザ-：949件(89%)
- 認知状況：67%



【特別参加】丸の内キッズジャンボリースペシャル版

- 日程：8/13 (火)、14(水)、15(木)
- 会場：東京国際フォーラム
- 対象：小学生・中学生およびその保護者
- 来場者：約12万人

関心もった記事を組み合わせて
自動車リサイクルについての
オリジナル新聞記事を作ろう！



5. 新聞折込チラシを利用した取組

環境イベントへの出展のタイミングで、その地域ユーザーに向けて新聞折込チラシを利用した情報発信を札幌市、名古屋市、福岡市などでトライアル実施し、その反響を確認することとしている。

(1) 実施計画

実施都市	実施日	利用媒体	部数	狙い
札幌市	8/10	北海道新聞	約32万部	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車リサイクルの認知を高める ● JARCウェブサイトへの誘導 ● 作品コンクールの認知を高める ● 環境イベントへの来場促進
名古屋市	9/14	中日新聞	約48万部	
福岡市	10/25	西日本新聞	約28万部	

(2) 札幌市での取組結果

クルマのリサイクル
次の100年のために
For the next 100 years of automobile recycling

クルマのリサイクルから、
ヒトにやさしい世の中をつくる。

【環境広場さっぽろ2019】で
オリジナルミタガールをゲットしよう！
8/12(月)・13(火) 10:00~17:00
札幌ドーム(札幌市豊平区平岸1)等地
札幌市

限りある資源を未来へ

使用を終わってもクルマは資源の塊
ほとんどがリサイクルされているんだよ。

部品リサイクル
リサイクル部品として再使用
部品は壊れてもリサイクル
素材は壊れてもリサイクル
リサイクル(燃料)燃料
燃料としてリサイクル
リサイクル(タイヤ)タイヤ
タイヤとしてリサイクル

自動車リサイクル促進センターが行っている第2回クルマのリサイクル
作品コンクールの(種類の数)の最優秀作品は次のどれでしょうか?
①乗りきった! 最後の仕事 リサイクル (小学生 佐藤 誠人さん)
②乗り終わり 未来へつなぐ リサイクル (中学生 佐藤 誠人さん)
③捨てないよ! さびはたいじな 資源だもん (中学生 佐藤 誠人さん)

【取組結果】

- 札幌市の環境イベントにチラシを持参した人数 → 32人
- 札幌市の地域からJARCウェブサイトへのアクセス件数 → 332件 (前年同期：82件)
- * 8/10から8/13の4日間のアクセス数
- * アクセス者の地域が分かる場合のみ

表

裏

6. PR動画を使った関心を高める取組

“映像”と“音”によるわかりやすいメッセージを、主として地上・BSデジタル放送などの媒体を使って配信し、自動車ユーザーを含む国民一人ひとりの関心を高め、そして共感を得る取組を行っている。

(1) スポット配信

環境イベントへの出展のタイミングでPR動画を配信する。

ブロック	配信局数	配信実施・予定日	テレビ局
北海道	2局	7/17-8/13	北海道放送(毎日)、北海道文化放送(フジ)
東北	6局	8/5-9/1	青森テレビ(毎日)、テレビ岩手(読売)、東北放送(毎日)、秋田テレビ(フジ)、山形放送(読売)、福島テレビ(フジ)
関東	-	-	-
北陸	5局	7/29-8/25	テレビ山梨(毎日)、新潟総合テレビ(フジ)、富山テレビ(フジ)、石川テレビ(フジ)、長野放送(フジ)
中部	3局	8/18-9/14	名古屋テレビ(朝日)、福井テレビ(フジ)、静岡朝日テレビ(朝日)
近畿	2局	9/1-9/28	毎日放送(毎日)、朝日放送(朝日)
中国・四国	7局	5/26-6/9	日本海テレビ(読売)、瀬戸内海放送(朝日)、広島ホームテレビ(朝日)、山口放送(読売)、四国放送(読売)、あいテレビ(毎日)、テレビ高地(毎日)
九州・沖縄	8局	9/30-10/27	RKB毎日放送(毎日)、サガテレビ(フジ)、長崎文化放送(朝日)、テレビ熊本(フジ)、大分放送(毎日)、テレビ宮崎(フジ)、南日本放送(毎日)、沖縄テレビ(フジ)

<取組のポイント>

- 環境イベントへの出展タイミングで全ての都道府県でPR動画を配信する
- 実施にあたっては、その都度、価格競争による事業者選定を行う

(2) タイム配信

日時を固定し、特定の番組の視聴者層に向けてPR動画を配信する。

ブロック	配信局数	配信実施・予定日	テレビ局	番組名	配信時間
全国	1局	4~9月	BSフジ	BSフジLIVE プライムニュース	平日20時から
全国	1局	10~3月	BSテレビ東京	日経プラス10	平日22時から

※2018年度 日本国世帯数(総務省) : 5,800.8万世帯

※2019年度 BS視聴可能世帯数(ビデオリサーチ) : 4,286.8万世帯

<取組のポイント>

- 半年毎に配信する番組を見直し、様々な視聴者層に向けてPR動画を配信する
- 実施にあたっては、その都度、価格競争による事業者選定を行う

<配信30秒動画>



7. 小学生とその保護者を対象とした取組

日本自動車工業会を始めとした自動車リサイクルの関係者と共に、小学生に向けた体験学習の場を提供し、小学生とその保護者の認知向上と理解促進に取り組んでいる。

(1) 小学生新聞「子ども記者」による現場見学を実施

＜実施計画と記事掲載月＞

見学月	取材内容	協力団体	掲載月
6月	解体事業者の取組	日本自動車リサイクル機構	9月
7月	破碎事業者の取組	日本自動車工業会、ASRチーム(TH,ART)	
8月	販売事業者(引取業者)の取組	日本自動車販売協会連合会	10月
8月	自動車メーカーの取組	日本自動車工業会	

(2) 掲載記事 (9/12掲載：解体事業者取組編、破碎事業者取組編)



拡大した記事はこちら <https://www.jarc.or.jp/news/5859/>

＜小学生の見学の様子＞



(株) オートパーツ伊地知 様(鹿児島県)での見学の様子



金城産業(株) 様(愛媛県)での見学の様子



8. 活動費の執行状況（第1Q）

2019年4月から6月末（第1Q）までにユーザー理解活動に要した費用は、2,683万円（第1Q執行率：67.5%）であった。
 なお、この理解活動費は、特預金と繰越金から負担される。

＜ユーザー理解活動に要した費用の内訳＞

（単位：万円）

#	取組の方向性	施策例	年度 計画額	第1Q		
				計画額 ①	決算額 ②	執行率 ②/①
1	全国万遍なく、環境関連イベントに出展し、自動車リサイクルの取組・成果の認知向上の機会を創出する	<ul style="list-style-type: none"> ●全国環境イベントでの情報提供の取組 ●地域メディアと連携した情報拡散の取組 ●新聞折込チラシの展開 	3,200	250	227	90.7%
2	若年層に向けた情報発信を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ●小学生とその保護者を対象とした取組 ●自治体と連携した情報拡散の取組 ●運転免許教習生に対する取組 	6,100	1,375	296	21.5%
3	各種メディアを活用して露出を高める取組を行う	●メディアミックスによる効果的な取組	13,000	2,175	1,872	86.1%
		<ul style="list-style-type: none"> ●ニュースリリースの積極的配信 ●その他のパブリシティ活動 	0	0	0	-
4	身近なところから、ユーザー視点で分かりやすい情報へと改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> ●ウェブページを活用した情報発信と改善 ●広報ツールの制作（チラシ・ポスター等） ●常設展示物の制作 	2,770	96	213	221.7%
5	自動車リサイクルの現状や実態の変化等を把握する	<ul style="list-style-type: none"> ●ユーザーの認知状況の把握 ●各種ユーザーニーズの把握 	330	80	76	95.2%
6	広報・PRの専門家を助言や支援を受けながら、質の高い情報を、効果的に発信する	<ul style="list-style-type: none"> ●効果的な取組の実務支援 ●リスク低減の観点での支援 ●情報発信の効果検証 他 	800	0	0	-
合計			26,200	3,976	2,683	67.5%

*合計額には、人件費・管理費等を含まない

<https://www.jarc.or.jp/>